

Fashion

人事のファッション機能学

小物に配慮して 信頼感や包容力を演出

スーツは意識して選んでも、小物には無頓着という人は少なくありません。とくにベルトは「油断」が出やすいアイテムです。何年も同じものを使っていて革が劣化していたり、バックルにブランドのロゴが大きくあしらわれていて全体の雰囲気に合わなかったり……。[「上着に隠れているから大丈夫」]と思うかもしれませんが、チラリと見えたときの印象が強く残りますから、注意が必要です。シンプルなデザインのものを選び、清潔に保つことで、革の劣化を防ぎましょう。色は靴に合わせ、黒か茶色が一般的。値段は、ビジネス用であれば1万円前後が相場です。

また、打ち合わせや会議など、座って相手と話す場では、時計がよく目につきます。男性には時計の愛好家も多く、凝ったデザインのものを着けている人もいますが、ビジネスの場では趣味を感じさせすぎないようにするのが基本です。シンプルな色やデザインの

ADVISER



政近 準子氏

ファッションレスキュー
代表取締役社長
パーソナルスタイリスト

Masachika Junko_アパレルのデザイナーを経て、2001年個人向けスタイリングを行う「ファッションレスキュー」を創業。顧客は政治家、経営者など1万人を超える。



上着を脱ぐ場合、ネクタイピンは、ワイシャツの第4ボタンと第5ボタンの間に留める。好みで上下させてもよい。

ネクタイピンは本来、ネクタイを少し持ち上げるように留める。上着の第1ボタンの少し上にのぞく位置が一般的。

カフボタンは手を下ろしたときに上着の袖口から見え隠れし、腕を動かしたときに顔を出すと美しく見える。

文字盤で、黒か茶色の革、もしくはシルバー系のベルトのものが落ち着いた印象を与えます。

次に、取り入れてみると少し個性が出る小物を紹介しましょう。前時代的なイメージを持つ人も多いかもしれませんが、服装にアクセントをつけるアイテムとして近年20代を中心に再び注目されているのが、カフボタンやネクタイピン(タイバー)です。

カフボタンやネクタイピンはビジネスに必須の小物ではありません。それだけに身に着けているだけで服装への配慮が伝わり、精神的な余裕を感じさせます。また、装着にひと手間かかるアイテムでもあり、自分の意識を仕事モードに切り替える効果もあります。

ただし、「これ見よがし」に着けては浮ついた印象を与えて逆効果です。ビジネスの場での小物のキーワードは、「さりげなさ」。初心者はカフボタン、

ネクタイピンともにシルバーで、石やロゴマークなどの装飾のないものを選ぶとよいでしょう。また、小物を新たに加えるときは、その分シャツをシンプルにするといった「引き算」で全体のバランスを調整し、過剰にならないようにすることが大事です。

小物の効果は、服装にアクセントを与えるだけではありません。ベルトで腰回りを引き締めたり、ネクタイピンでネクタイを持ち上げるなど服装に抑揚や立体感を持たせる効果があります。ビジネスの場でとくに重要なのは後者だと私は考えています。立体感がある体形は落ち着いた雰囲気につながり、信頼感や包容力を感じさせます。日本人は平面的な体形の人が多く、「貧相に見えないようにしたい」というご相談をよく受けますが、小物で補うのも1つの手だと思います。是非小物にも注目してみてください。